



連携事例30

R5.8 更新

保護犬猫の譲渡会 in 茂原珈琲

～外房エリアの動物愛護の拠点を目指して！～



令和3年5月に開催した第5回目の譲渡会の様子

■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

■事業運営団体

- ・ Dog Barrier free Café 茂原珈琲

■協働パートナー

- ・ NPO 法人 長生・夷隅地域の暮らしを支える会夷隅ひなた「ぼうさぼ・いすみ」
- ・ 任意団体 PAF (太平洋動物家族会)

■事業費

■資金調達手段

事業概要

保護犬猫の幸せな行き先を探す場所を定期的かつ継続的に開催する場所を提供し、それに従事するボランティアさんを支援すること
 ドリンク1杯飲むと10円、オリジナルマグカップご購入で300円をボランティアさんに寄付する
 「Dog Barrier free Cafe 茂原珈琲」に来れば、ペットショップに行かなくても、ワンちゃんとネコちゃんとお出合いするという事を多くの周辺地域の方に知ってもらえる活動が続ける

協働までの経緯

茂原市では犬猫の譲渡会が開催されてなかったので自ら開催場所を作ることを決意し、譲渡会ボランティア

に参加し、そこで協働パートナーである「ぼうさぼ・いすみ」と出会い、令和2年7月に茂原珈琲がオープンして、その三か月後、ようやく譲渡会の開催を実現させる。今年に入り「PAF」さんも加わり譲渡会を7回開催する。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ① 毎月第三土曜日に開催 (令和5年7月15日現在で30回を超える)
- ② 茂原市の広報誌に譲渡会の開催案内を掲載

● 主な協働パートナーとの役割分担

【NPO】長生・夷隅地域のくらしを支える会
(ぱうさぼ・いすみ)

- ・犬猫保護、犬猫治療、譲渡会で里親を見つける
- ・ボランティアの連携窓口

【任意団体】PAF (太平洋動物家族会)

・これまでは譲渡会イベントの広報協力や当日のサポートを担ってきたが、今後は保護した動物を譲渡会に参加し、里親を見つける。
チャリティーコンサートなどの催しも企画。

● 協働事業によって生まれた成果

【連携団体にみられた成長】

「ぱうさぼ・いすみ」：この譲渡会で連携する前は定期的に行うことが出来た場所がなくコロナ禍で県外に行けず保護犬猫の行き場が無かったがこの譲渡会で確実に助かる命が増えていった。

「PAF」：人脈、情報量やノウハウを「ぱうさぼ・いすみ」から得て、やり方や仕組み陥りやすいトラブルを学ぶことが出来て、活動拠点の銚子市で譲渡会を企画する予定する切っ掛けが出来た。

【連携による相乗効果】

「茂原珈琲」を多くの方に知ってもらうことが出来た。「PAF」銚子市の特産物の販売をして活動資金に宛がうことが出来た。「ぱうさぼ・いすみ」多くの保護犬猫の命を救うことが出来た。これに尽きる。やって良かった。

● 今後力を入れていきたいこと

○力を入れていきたいこと1：ペットを飼う手段として、ペットショップに行くのではなく、「譲渡会で里親になる」という選択肢があることを、広く地域の皆さんに知ってもらう。

○力を入れていきたいこと2：まずは茂原市から灯った小さな火種を、外房エリアに、そして千葉県全域に広めて行きたい。それには熊谷知事のお力が必要です。

○力を入れていきたいこと3：環境保護活動。海洋プラスチックやマイクロプラスチックの削減に努めて行くことを宣言します。



♡ コラボのコツ!!

★★コツ1 動物を愛する心

★コツ2 お互いの長所を活かし短所を補う

★コツ3 良いことは先ず行動

コツに関するコメント

同じ志を持った者達が力を合わせれば、困難は乗り越えられ、数多くの犬猫の命を救うことが出来る。

協働事例プロフィール

【活動開始年】平成2年7月

【活動のPR手法】

Instagram: @dogbarrierfreecafe/ Facebook: <https://www.facebook.com/mobaracoffee>

【この事業で活用した補助金】なし

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】令和5年4月24日千葉日報新聞/令和5年7月14日朝日新聞 掲載

【問い合わせ先】担当者：瀬山 電話番号：070-6661-9626 メールアドレス：seya0194@yahoo.co.jp